

外部評価軽減要件確認票

【重点項目への取組状況】

重点項目	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	運営推進会議で、出席者から地域の行事等の情報を得ている。前回の地域合同防災訓練には、利用者2名が参加した。しかし、地域との交流は活発とは言えず、今後の課題として残る。	
重点項目	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	2ヶ月に1度、規定通りの開催とはなっているが、会議の出席者が少なく、形骸化の傾向がみられる。 今後の会議運営では、外部評価との連動による新たな「役割」も付加されることから、会議メンバーの増員と、家族への意識付けが急務となる。	
重点項目	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	市の行政担当者と連絡を取りながら協力関係を構築し、事業所の実情も聞いてもらっている。また、市の担当者からは有効なアドバイスも多い。	
重点項目	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	身の回りの衣類（紙おむつ等）を安価で購入してもらっているとの感謝の言葉があった。かかりつけ医への通院介助やその連絡にも、対応の良さが語られていた。それらをはじめ、家族アンケートには感謝の気持ちがあふれていた。 今後は、ホームの運営に無関心な一部の家族への対応が課題となっている。	
重点項目	その他軽減措置要件	評価
	「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	
	運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	
	運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	
総合評価		

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>運営推進会議が当初期待された目的を果たしているという状況ではないが、規定通り(形式的)の運営は行われている。会議メンバーを増員したり、家族に会議の目的や意義を理解させ、協力体制を作り上げる取組みが欲しい。</p>

1. 外部評価軽減要件

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。

運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。

運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。

別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件 における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域とのつきあい	<p>(例示)</p> <p>自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。</p> <p>地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。</p>
3. 運営推進会議を活かした取組み	<p>(例示)</p> <p>運営基準第85条の規定どおりに運用されている。</p> <p>運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。</p>
4. 市町村との連携	<p>(例示)</p> <p>運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。</p> <p>市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。</p>
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	<p>(例示)</p> <p>家族会を定期的（年2回以上）に開催している。</p> <p>利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。</p> <p>家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。</p>

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。